

# 伝承鳩

文字でつなぐ人の心

(No.2)

「かあさんの詩」

「かあちゃん」「お母さん」「母さん」「おふくろ」呼び方は沢山ある。

子どものころは「かあちゃん」「お母さん」そして「母さん・おふくろ」と変わってきた。就職して家を離れて一人暮らしを始めた初冬に田舎から手紙が届いた。母からの手紙だ！読みながら子供のころを振り返って目をつむる。

母は、囲炉裏端でとろとろと燃える火の明かりと天井から下がった電球の光を頼りに私の手袋を編んでくれた。古くなったセーターを壊し色々な色の毛糸が繋がれてボールのように丸められていた。

朝起きると枕元に色々な色が編み込まれた手袋が重ねて置いてあった。夜なべをして編んでくれたんだ！小学校の六年生の時だった。母が予想していたかのようにその数日後に大雪が降った。

体操の時間は、校庭で思いっきり雪合戦を楽しんだ。この時、事件は起きた。

最初は、母の編んでくれた手袋をして雪を丸めた。そのうちに少し硬くするために手袋をはずしポケットに入れ素手で雪を丸めた。授業が終わって教室に戻って気がついた。ポケットに手袋が無い事を！

先生に言うと、みんなが校庭に出て探してくれたが見つからなかった。先生は、「春になって雪が解ければ見つかるさ。安心しろ！」って。

でも母には、しばらく手袋を無くしたとは言えなかった。

2月。ようやく校庭の雪が解け始め少しずつ春の気配が感じられる頃、校庭の真ん中に手袋があった。先生が「卒業前に見つかってよかったな！」と言って渡してくれた。

その日、家に走って帰って母に話した。母は、何も言わず笑っていた。

目を開けて手紙を見ると母の優しい文字が並んでいた。そして、封筒の中から囲炉裏の匂いもしてきた。

今！その母も亡くなって二十二年になる。

蟻川 孝

- ◆このコーナーではご家族・ご友人などに向けた「作文」「手紙」「作品」などをご紹介します。
- ◆お寄せいただいた内容により、掲載を見送るか、編集のご相談をさせていただくことがあります。また、「みんなの広場」の投稿欄などに掲載する場合もあります。何卒ご容赦ください。

## 訂正とお詫び

「広報はとやま」2月号、裏表紙の『伝承鳩』内、「荒井 璃菜」さんのルビ「はるな」は「りな」さんの誤りでした。訂正してお詫びいたします。

※「広報写真で振り返る町の歴史」は、今月はお休みしました。

◆「広報写真で振り返る町の歴史」は、今月はお休みしました。

## 人口と世帯

2月1日現在、( )は対前月比

人口	14,457人	(-13)
男	7,134人	(-9)
女	7,323人	(-4)
世帯	5,870世帯	(-6)
1月の出生数	6人	

## 3月の納税・納付

町・県民税	(随時)
固定資産税	(随時)
国民健康保険税	(随時)
後期高齢者医療保険料	(随時)
介護保険料	(随時)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

編・集・室

今月号は認知症を特集しました。数年前に他界した私の祖母も、認知症を患っていました。当時はまだ「認知症」という病気が今ほど一般的ではなく、接する家族や周囲の理解も十分ではなかったかもしれません。そのような状況の中、終生の一時を共にした私の母は、大変なことも多かったのではないかと推測できます。

何か問題にぶつかったとき、当事者と、周囲の人では、それぞれに必要な考え方や姿勢があることを、取材を通していつも教えられます。

当事者に必要な考え方は、「相手が変わるのではなく、自分が変わる事」です。そして、周囲の人に必要な姿勢は、「当事者が抱える問題を、知ろう、理解しよう」とすることです。

それらを実践している方と接していると、「思いやり」「優しさ」、そしていい意味での「おせっかい」を共通して感じます。

自分には足りないことばかりです。改めて、自分を見つめ直している今日この頃です。Ⓚ

※「広報写真で振り返る町の歴史」は、今月はお休みしました。